



校長室より

運動会が、いよいよ今週の土曜日に迫ってきました。練習にも熱が入り、本番では子どもたちのすばらしい頑張りを見て頂けるのではないかと思います。

私が運動会の時期になると思い出すのが、不思議と青切りのミカンです。運動会のお昼のお弁当に、毎年必ず初物のまだ青いミカンが入っていました。もちろん、見たままの酸っぱいミカンなのですが、食べると元気が出るような気がして、顔をしかめながらも我慢して食べたのを覚えています。小学生時代、運動があまり得意でなかった私にとって、走っても走っても追いつけない徒競走のほろ苦い思い出とオーバーラップして、この青切りミカンのことを鮮明に覚えているのかも知れません。



先日、スーパーで青切りミカンを一つだけ買いました。母の御霊に供えてから食べてみると、なんと驚くほど甘いのです。50年近くの歳月の間に、ミカンも品種改良されて、こんなに甘くなったのですね。甘くなった青切りミカンと同じように、小学校時代の私の運動会の思い出も50年経った今、なつかしく笑顔で語れるものとなりました。

運動が得意な子、そして苦手な子。運動会への思いは人それぞれです。わくわくして眠れない子、ドキドキして眠れない子。そして不安で眠れない子などさまざまです。でも、どんな思いも、きっといつか楽しい思い出となります。子どもたち一人ひとりの運動会が、素晴らしい思い出となるよう願っています。お家でも、応援と励ましの声をかけてあげてください。

秋分の日の意味は？

9月23日は秋分の日。ご存じのように、国民の祝日でした。それでは、どうして秋分の日が、国民の祝日なのでしょう？

秋分の日は、1948年（昭和23年）に公布・施行された国民の祝日に関する法律（祝日法、昭和23年7月20日法律第178号）によって制定されました。同法第2条によれば、「祖先をうやまい、なくなった人々をしのぶ」ことを趣旨としているそうです。



秋の風景

この秋分の日、昼間と夜の長さがほぼ同じ（実際には、ほんの少しだけ昼間が長いようですが）で、二十四節気の一つに数えられています。秋分の日、23日に固定されて

いるのではなく、地球が秋分点を通過する日（日本時間）としています。国立天文台が作成する『暦象年表』という小冊子に基づいて閣議で決定され、前年2月第1平日付の官報で発表されるとのことです。つまり、2年後以降の天文学における秋分日は計算によって求められますが、2年後以降の秋分の日は確定していないということになります。なお、昨年2012年の秋分の日は116年ぶりに9月22日になったことは、記憶に新しいですね。

児童会選挙

二学期制の伊勢市では、10月に前期が終了します。御菌小学校では、10月17日で前期が終了し、10月21日より後期の授業がスタートします。児童会も前後期制になっていますので、9月26日（木）に後期児童会の役員選挙が実施されました。



まず始めに、各役員に立候補した候補者と推薦者による演説会がありました。どの候補者も、堂々と自分の公約を話すことができました。また推薦者も、とても立派に候補者の良い面を話すことができました。みんなやる気がみなぎり、どの子が役員になっても、御菌小学校の児童会は大丈夫だと思いました。

演説のあとの投票で、後期新役員が決定しました。当選した子どもできなかった子ども、その差は僅かでした。これからも、いろんなことに今回の経験を活かして、積極的に参加して行ってほしいなと思いました。

運動会の練習あれこれ

運動会を土曜に控え、子どもたちは一生懸命練習に取り組んでいます。はじめはどうなるかと心配した表現運動も、み



んなの息がとてもよく揃うようになってきました。徒競走のスタートも上手になりましたし、全体練習では整列もうまくなりました。これで5日が快晴なら言うことありませんね。

交通事故に注意を！

先週京都府で、登校途中の小学生が巻き込まれる痛ましい事故が起きました。フェンスなどで安全が確保された場所での事故でした。これは、もはや事故というよりも事件と言った方がいいのかも知れません。今回のように、歩行者が気をつけていても防げない事故もありますが、子どもたちには、自転車の乗り方や登下校中の歩き方（歩道があるのに車道を歩いたり、道いっぱいに広がって歩いたり）について、ご家庭でも十分ご指導ください。